

「Indeed」CM シリーズ最新作

Hi-STANDARD と妻夫木聡さんが共演！

妻夫木聡さんと一緒に名曲『STAY GOLD』を熱唱するサプライズも！

新 TVCM 「STAY GOLD」 篇 30 秒 を 10 月 20 日（火）から全国で順次放送開始（一部地域を除く）

同 CM のロングバージョンも同日より特設サイトで公開開始

インタビューでは憧れのバンドと緊張の初対面を果たした妻夫木さんがあふれる"ハイスタ愛"を語る

撮影の舞台裏や Hi-STANDARD が今回の出演に込めた想いも、

特設サイトや Indeed 公式 SNS など順次公開予定！

世界 No.1 求人サイト*「Indeed（インディード）」は、日本を代表するパンクロックバンド Hi-STANDARD を新 TVCM に迎え、妻夫木聡さんと共演する「STAY GOLD」篇 30 秒 を、10 月 20 日（火）から全国（一部地域を除く）で順次放送します。また、同 CM のロングバージョン「Documentary of Hi-STANDARD Episode 1 "Always In My Heart..."」を同日より特設サイトで公開します。

*：Comscore, 総訪問数, 2026 年 3 月



ロングバージョン「Documentary of Hi-STANDARD Episode 1 "Always In My Heart..."」より

Indeed は、ブランドコンセプトとして「いい未来は探せる」を掲げ、今後の自分の働き方や生き方を模索している人々に対し、皆様の自己実現を支えていくパートナーとして新しい働き方や生き方、成長の可能性を提供していきたいと考えています。8 月にスタートした新コミュニケーションでは、妻夫木聡さん、吉岡里帆さんが自ら取材者となり、仕事で“いい未来”を見つけて働く人々にフォーカスを当てる、ドキュメンタリータッチの世界観の CM シリーズを展開。10 月 16 日（金）からはティザーCM となる Documentary 「緊張」 篇 15 秒 を公開しています。

■Hi-STANDARD とは

Hi-STANDARD は、1991 年に結成された日本を代表するパンクロックバンドです。英語詞による楽曲と圧倒的なライブパフォーマンスで支持を広げ、北米やヨーロッパでのツアー、著名な海外バンドとの共演など、国内にとどまらない活動を展開。自主レーベルの運営や、自ら主催する音楽フェス「AIR JAM」の開催を通じて、既存の枠組みに頼らず自分たちの手で音楽をつくり、届ける「DIY (Do It Yourself)」の姿勢を貫き、日本のインディーズ・パンクシーンに新たな道を切り開いてきました。1999 年に発表したアルバム『MAKING THE ROAD』は、インディーズ作品として異例の世界累計 110 万枚超を記録。その音楽と生き方は、多くのリスナーはもちろん、後に続くバンドや音楽に携わる人々にも大きな影響を与え続けています。一方で、音楽やライブを通じて自分たちの思いを直接届けることを大切にし、テレビをはじめとするメディアへの出演は極めて限定的でした。意図とは異なるイメージで伝わることを避け、音とライブを中心に自分たちの活動の在り方を守り続けてきたバンドでもあります。企業広告への出演もこれまで行っておらず、今回の Indeed の CM が Hi-STANDARD にとって初の CM 出演となります。

■Hi-STANDARD との取り組みについて

今回の Hi-STANDARD の起用は、Indeed のブランドコンセプト「いい未来は探せる」と、そこに込めた「全ての人のいい未来を望んでいる」という思いに、Hi-STANDARD の皆さんが共感してくださったことから実現しました。働いている人や、自分に合う仕事について悩んでいる人を応援したいという思いは、メンバー3 人の中で普段から共有されてきたものです。また、さまざまな困難を乗り越えて現在に至った自分たちの経験を重ねながら、困難があっても「越えられる、越えられるはずだ」と背中を押す Indeed のメッセージに共感し、「一緒にいい未来をつくっていききたい」という思いを語ってくれています。これまでメディア、特に映像媒体への出演が多くなかった Hi-STANDARD が今回の出演を決めた背景には、自分たちの姿が、かつてその音楽を聴いて育った世代や若い世代に届くことで、新たな可能性につながってほしいという思いがありました。

Indeed と難波章浩さんは 2022 年にも、難波さんが仲間とともに地元・新潟のラーメンの味と文化を継承する「なみ福プロジェクト」への挑戦を約1年間にわたり撮影し、『Indeed Documentary*』として共同で公開しています。動画では、新しい仕事に挑む難波さんだけでなく、その思いに共感して集まった料理人や大工、大学生など、多様な立場の人々が力を合わせる姿を通じて、仕事の可能性や、仲間とともに未来を切り開くことの尊さを伝えてきました。これまで Indeed が展開してきたコミュニケーションでも、表舞台に立つ人だけでなく、その仕事や現場を支える一人一人に光を当て、それぞれが仕事の先に見つける“いい未来”を描いてきました。

ステージに立つ人も、音楽をつくり届けるさまざまな仕事に携わる人も、日々それぞれの仕事に向き合う人も、一人一人の生き方や“いい未来”を肯定してきた Hi-STANDARD の皆さん。その姿勢は、こうした Indeed の一貫した思いと深く重なります。今年 35 周年を迎えた唯一無二のバンドが、自分たちらしく音楽を続けながら、働く人々とともに“いい未来”をつくっていききたいと考えていること。その実感を伴った共感こそが、今回の取り組みの土台となっています。

*『Indeed Documentary』特設サイト：<https://jp.indeed.com/cm/stories/namifuku>

■新 TVCM について

最新作の「STAY GOLD」篇 30 秒では「仕事の先にある、思いがけない瞬間を。」というテーマの下、伝説のパンクロックバンド「Hi-STANDARD」が登場。音楽スタジオに目を輝かせながらやって来た妻夫木さんの前で、Hi-STANDARD が名曲『STAY GOLD』を生演奏し、思わぬサプライズで盛大に盛り上がる様子を描いています。コピーバンドをしていた学生時代から憧れ続ける Hi-STANDARD との初共演について、「ハイスタは僕にとって神様のような存在」「30 年前は一人の観客だったんですから」「世の中なにがあるか分からない」とうれしそうに語る妻夫木さん。そんなあふれる「ハイスタ愛」を受け取ったメンバーの皆さんは、「妻夫木さんと頑張っているみんなに」と、全ての人の“いい未来”を後押しする最高の一曲を披露します。妻夫木さんにとって、役者という仕事に向き合い、歩みを止めずに続けてきた先に待っていた、憧れの存在との共演。それはまさに、仕事を続けてきたからこそ出会えた“いい未来”の一つです。「続けてきてよかった」と思える夢のような瞬間を、臨場感たっぷりに捉えた新 CM にご注目ください。

■新 TVCM 概要

- タイトル : 「STAY GOLD」 篇 30 秒
- 出演 : 妻夫木聡、Hi-STANDARD (難波章浩・横山健・ZAX)
- 放送開始日 : 2026 年 10 月 20 日 (火)
- 放送地域 : 全国 (一部地域を除く)
- 特設サイト : <https://jp.indeed.com/cm/iimirai/hi-standard>
- CM 本編映像 : 「STAY GOLD」 篇 30 秒 <https://www.youtube.com/watch?v=FM22AwmPwl0>

※Documentary「緊張」篇 15 秒は 2026 年 10 月 16 日 (金) よりティザーCMとして公開中

タイトル: Documentary「緊張」篇 15 秒 <https://youtu.be/shQf-dEOQqo>

※ロングバージョンも 10 月 20 日 (火) から特設サイトで公開予定

タイトル: ロングバージョン「Documentary of Hi-STANDARD Episode 1 "Always In My Heart..."」

＜特設サイト＞ <https://jp.indeed.com/cm/iimirai/hi-standard>

＜Indeed 公式 YouTube アカウント＞ <https://youtu.be/CuTvrBNP2Wc>

■今後の展開予定

Documentary「緊張」篇 15 秒、「STAY GOLD」篇 30 秒の放送を皮切りに、今後も新たな TVCM を順次放送する予定です。また、今回の共演が実現した背景や出演者それぞれの想い、撮影現場の舞台裏なども、特設サイトおよび Indeed 公式 SNS で順次公開予定です。Hi-STANDARD と妻夫木聡さんが撮影を通じて見せた表情や、TVCM 本編だけでは伝えきれないエピソードにも、ぜひご注目ください。

最新情報は、特設サイトおよび以下の Indeed 公式アカウントでお知らせします。

Indeed 公式 YouTube アカウント : <https://www.youtube.com/@IndeedJapan>

Indeed 公式 X アカウント : <https://x.com/IndeedJapan>

Indeed 公式 Instagram アカウント : https://www.instagram.com/indeed_jp/

Indeed 公式 TikTok アカウント : https://www.tiktok.com/@indeed_japan

■撮影エピソード

◇憧れのバンドとの初対面に緊張と興奮が隠せない妻夫木さん

撮影は 9 月中旬、都内の音楽スタジオで行われました。いつもは取材される側ですが、今回は自らがインタビュー役を務めることに加えて、そのお相手が憧れの Hi-STANDARD の皆さんだけに、収録前から緊張していた妻夫木さん。「青春そのもの」と語る Hi-STANDARD コピーバンドをやっていた高校時代の思い出を皮切りに、「子どもを寝かしつけた後、お酒を飲みながらよく聴きます」「普段メディアにあまり出ない方々なのに、よく出ていただきましたね」「一体どんな顔で皆さんとお会いすればいいのか」「人生で初めて味わう種類の緊張感です」などと矢継ぎ早に言葉があふれ出し、緊張と興奮が隠せない様子でした。

◇デビューCMに気合が入りまくる Hi-STANDARD の皆さん

一方、Hi-STANDARD の皆さんは、スタジオに用意された楽器やアンプ類などを一つ一つ確認。全体をいつものリハーサルと同じような配置に整えた後、それぞれの楽器のチューニングや音を拾うマイクの位置、高さ、角度などを細かく調整し、丁寧にサウンドチェックを行いました。全ての準備が整うと、難波さんが「よっしゃー！ 全力で行くよ！」と本番のスタンバイ完了を宣言。その際、普段と少しテンションが違うことを感じ取ったのか、横山さんが「いつもより気合が入っているね」と指摘すると、すかさず難波さんが「なんつったってデビュー (CM) だもん」と返し、ZAX さんと 3 人で楽しそうに笑い合う場面がありました。

◇Hi-STANDARD が妻夫木さんの目の前で『STAY GOLD』を生演奏

「高校時代、Hi-STANDARD のコピーバンドでベースをやっていました」という妻夫木さんのエピソードを聞いて、うれしそうにほほ笑んだ難波さんと横山さんは「じゃあ一緒に弾いちゃう？」「実は昨日の夜、ベースの練習をしていたりして？」とまさかの提案。「いやいやいや、弾けないですよ」「恐れ多いですよ」と辞退する妻夫木さんに、「それじゃあ聴いちゃう？」「妻夫木くん！ずっと輝いていますか？」「妻夫木くんと頑張っているみんなに『STAY GOLD』！」と、その場でサプライズの一曲を演奏しました。メロディーに合わせて楽しそうに体を動かしながら歌っていた妻夫木さんは「いまだにこれが現実なのか分からない」と、すっかり夢見心地の様子。その姿を見た難波さんが「これからも輝いちゃってね」と呼びかけると、妻夫木さんが「皆さんも！」と歓声を上げ、「皆さんが輝いていれば、僕らはついていけるので！」と応じていました。

◇思わぬサプライズで妻夫木さんがベース&ヴォーカルを担当！

ここで妻夫木さんに、さらに大きなサプライズを用意していたHi-STANDARDの皆さん。難波さんが「ちょっと『STAY GOLD』を弾いてみる？」「一回持ってみれば？」と自らのベースを手渡し、「一気にテンパりますね」「コードも何にも分からなくなります」と思わぬ事態に慌てふためく妻夫木さんに対して、まさかの即席演奏指導が始まりました。横山さんのギター、ZAXさんのドラムもサポートし、「バッチリじゃん」「できている、できている」とわずか3分ほどでレッスンを終えると、最後に難波さんが「俺がベースを弾くから、サビと一緒に歌おう！」「ヴォーカルは妻夫木くんで」と提案。「うわ、マジっすか」「僕は今日なんの仕事をしに来たんだろう」と焦りまくる妻夫木さんと一緒に、貴重なツインベース&ヴォーカルの『STAY GOLD』を披露しました。

◇セッションの最中に垣間見えた妻夫木さんの青年時代！？

演奏後、3人が「最高！」「一緒にバンドを組んだら売れちゃうね」「売りたい」と話していると、すかさず妻夫木さんから「皆さん、めちゃくちゃ売れていますよ（笑）」とツッコミが。現場は大きな笑い声に包まれました。さらに、「妻夫木くんのパッションのおかげで最高の一曲が弾けた」「歌っている姿を見て、高校生とか役者さんになりたての頃の妻夫木くんが見えたような気がする」「音楽っていいよな」とうれしそうに感想を語ったメンバーの皆さん。妻夫木さんが「Hi-STANDARDさんは僕たちの希望の光」「皆さんがいたおかげで前に進めました」「ありがとうございます」と満面の笑みで応じて、夢の豪華セッションは幕を閉じました。

■妻夫木聡さんインタビュー

※以下のインタビューはHi-STANDARDとの対面で行われました。

——今回、大ファンであるHi-STANDARDとの共演が決まった時の感想をお聞かせください。

本当に、ちょっと信じられない、という感じですが、30年前の自分に「こういういい未来が待っているぞ！」と言いたい気分です。でも、いまだに信じられないというか。本当に（Hi-STANDARDは）存在しているのかな、と思ってしまうぐらい、まだ信じられていません。

——妻夫木さんにはこれから撮影で、Hi-STANDARDの皆さんとお会いしてインタビューをしていただきますが、率直に今どんなお気持ちでしょうか？

メディアにあまり出られない方々なので、どこまで踏み込んで話していいのかも分からないし、緊張して言葉が出てこなかったらどうしよう、と思っていますが、普段見られないような一面を（Hi-STANDARDへの取材者として）少しでも皆さんにお届けできたらいいなと。また、今どういう思いでHi-STANDARDと向き合っているのかを、改めて聞かせていただけたらうれしいです。

——Indeedはブランドコンセプト「いい未来は探せる」を掲げていますが、Hi-STANDARDの大ファンである妻夫木さんにとっても、今回の共演は「いい未来」ではないでしょうか。

そうですね。特にHi-STANDARDの皆さんは、「いい未来は探せる」というメッセージをずっと意識して活動してこられて（きたと感じていて）、今まさに、その思いがさらに結束しているんじゃないかなと想像しています。僕は高校生の時、Hi-STANDARDのコピーバンドをやっていて、当時はめちゃくちゃ年上の方々という認識で、「とんでもないことをやっている人たちがいる！」というふうに思っていました。でも、実際にライブを見たりする中で、「どんな人にも可能性ってあるよね」「みんなちっちゃな芽をどんどん花開かせようよ」と言われているような気がしたんですよ。だから、僕にとってのHi-STANDARDは、未来というか、希望みたいなイメージで、まさにそのメッセージ通りの方々だなと思います。

——妻夫木さんと Hi-STANDARD の出会い、初めて曲を聴いた時の印象を教えてください。

バンドをやっていた兄の影響で、中学生の頃から Nirvana（ニルヴァーナ）とか Megadeth（メガデス）とか、いろいろなジャンルの音楽を聴いていたんですけど、ある日、兄が Hi-STANDARD の CD を買ってきたんですよ。その曲を聴いた時「なんだこれは…！」と衝撃を受けまして。「え、これは日本人なの？」「めちゃくちゃカッコいいよね」というのが初めての出会いでした。当時 NOFX（ノーエフエックス）という大好きなバンドがいて、その前座を務めたのが Hi-STANDARD だということも知って、これは新しい日本の音楽シーン、新しい時代がやってきたなと。それから、高校に入ったら絶対バンドをやろうと思っていたので、Hi-STANDARD のコピーバンドをずっとやっていました。だから、僕の青春は全部 Hi-STANDARD で出来上がっているようなものです。もし Hi-STANDARD がいなかったら、生まれていないバンドも山ほどあったでしょうし、僕らもバンドに熱狂することもなく、こうして今いろいろなことに希望というものを抱きながら生きている、ということもなかったような気がするんですよ。だから、いろいろな意味で Hi-STANDARD さんには感謝しています。

——Hi-STANDARD のどんなところが好きですか？

言語化するの難しいですが、はっきり言えることは“熱狂”のひと言で、とにかく当時の僕たちは、あの熱狂の渦にグワーンとのみ込まれていました。活動休止する 2000 年まで、本当にあっという間でしたが、僕自身 Hi-STANDARD に希望を感じていたし、その背中を見ていれば、何でもない僕らも何者かになれるんじゃないかと、そういう勇気をもらえていたんですよ。後々デビューしていくバンドの方々や、弾き手ではないスタッフの皆さんもそんなハイスタの背中を見て、もしかしたら僕と同じように感じていたんじゃないかなと。それぐらい、誰も歩いたことのない道を正面切って歩いている 3 人の姿がとても印象に残っています。

——Hi-STANDARD の楽曲の中で好きな曲や歌詞、フレーズを教えてください。

いろいろな曲をコピーバンドの時にやらせてもらいましたが、どの曲も大好きで、挙げ出したらキリがないんですけど、1998 年の「AIR JAM」に行った時、「最後は新曲をちょっと聴いてもらいたいなと思います」という場面があって。そこで「いつまでも輝いてる君でいて！」「STAY GOLD!」と言って、『STAY GOLD』が始まったんですよ。あれはシビれましたね。その日初めて聴いた曲ですが、「なんだ、この人たちは…」と鮮明に刻まれました。もう、思い出だけで泣けてくるぐらいの思い出です。いい曲だったなあ、ほんとに。自らが輝いている方たちにもかかわらず、『STAY GOLD』という曲を僕らに届けてくれることが、またうれしくて。また明日から頑張って生きられるとシンプルに思える、そういう曲でした。もう、大好きです！

■ストーリーボード

「STAY GOLD」 篇 30 秒



妻夫木さん
♪ 仕事さがしは Indeed



難波さん
『STAY GOLD』！



【TITLE】
♪ STAY GOLD /
Hi-STANDARD



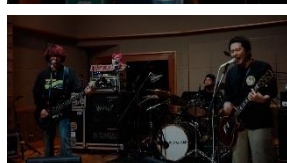
妻夫木さん
「うわあもうちょっと
信じられないです」



妻夫木さん
「僕にとってはみなさん
神みたいな存在なんで」



妻夫木さん
「足が震えてるんですよ」



Hi-STANDARD
I won't forget

※ストーリーボードの画像の使用はお控えください。



When you said to me



"stay gold"



I won't forget



妻夫木さん
「30 年前はひとりの観客だっ
たんですから」



Hi-STANDARD
Always in my heart



"stay gold"



妻夫木さん
「世の中なにあるかわかん
ない」



【TITLE】
いい未来は探せる。

【TITLE】
Indeed インディード
Hi-STANDARD インタビュー
公開中

Documentary「緊張」篇 15 秒

※ストーリーボードの画像の使用はお控えください。



妻夫木さん
♪仕事さがしは Indeed
♪バイトさがしも Indeed



妻夫木さん
「もう、緊張しかないです」
「どう声かけていいのか？」
「よしっ」



【TITLE】
いい未来は探せる。



♪仕事バイトさがしは
Indeed

【TITLE】
いい未来は探せる。
Indeed インディード

■キャスト



妻夫木 聡 SATOSHI TSUMABUKI

1980 年福岡県生まれ。1998 年 TV ドラマ CX「素晴らしい日々」でデビュー後、映画「ウォーターボーイズ」(01)や「ジョゼと虎と魚たち」(03)で主演を務め、数々の賞を受賞し注目を集める。その後 NHK 大河ドラマ「天地人」(09)の主演で国民的俳優としての地位を確立。「悪人」(10)をはじめ、「怒り」「ある男」など日本アカデミー賞を計 9 作品で 10 度受賞。近年は映画「宝島」や TBS 日曜劇場「ザ・ロイヤルファミリー」(ともに 25)にて主演、NHK 朝ドラ「あんぱん」(25)、「人はなぜラブレターを書くのか」(26)にも出演する実力派俳優。

Hi-STANDARD



Hi-STANDARD は 1991 年に結成された、難波章浩 (Vo/B)、恒岡章 (Dr)、横山健 (G/Vo) からなるパンクロックバンド。日本のインディーズ・パンクシーンの先駆者として、北米やヨーロッパを精力的にツアーし、NOFX、Green Day、Rancid、The Offspring らと共演。Fat Wreck Chords からの海外リリースや Vans Warped Tour への出演を通じ、世界的な支持を築いてきた。1997 年には自主企画フェス「AIR JAM」を立ち上げ、3 万 5 千人規模のスタジアムイベントへと発展。1999 年発表の『MAKING THE ROAD』は、インディーズの日本人バンドとして異例の世界累計 110 万枚超を記録し、その音楽と DIY 精神は後続世代に大きな影響を与えた。2023 年に恒岡が急逝するも活動継続を表明し、2025 年に THE BONEZ の ZAX が正式加入。ミニ・アルバム『Screaming Newborn Baby』を発表し、2026 年の全国ツアーはライブハウスから K アリーナ横浜まで全公演ソールドアウト。K アリーナ公演は世界へ向けて生配信され、さらに 2018 年以来となる「AIR JAM」の開催も 2026 年に決定している。

Indeed (インディード) について

Indeed は、最も多くの人々が仕事を見つけている世界 No.1 求人サイト (Comscore 2026 年 3 月総訪問数) であり、60 か国以上で 6 億 4,500 万件を超える求職者プロフィールと 330 万以上の雇用主をつなぐグローバル採用プラットフォームです。AI とリアルタイムデータを活用し、求職者に関連性の高い仕事との出会いを提供するとともに、雇用主の迅速な採用を支援しています。

詳細は <https://jp.indeed.com> をご覧ください。

＊: Comscore, 総訪問数, 2026 年 3 月

＊: 2026 年 オリコン顧客満足度®調査 求人情報サービス 総合第 1 位

本件に関するお問い合わせ先

Indeed Japan 株式会社 広報窓口 E-mail: jp-pr@indeed.com